

(株)ケアフレンドモリタ
代表取締役 奥村直樹

取扱職種……… 全職種
主な取扱職種…家政婦、看護師（看護師は施設雇用でごくわずか）
従業員…2名（紹介責任者1名＋パート1名）
登録家政婦…80名程
介護保険 訪問介護事業所と居宅介護支援事業所を併設

提供サービス

1、在宅（60% 手数料収入ベース）

- 1) 介護が主(50%)
 - ① 介護保険（訪問介護）との混合介護が多い（1人の家政婦が時間により2役）
→CM、提責がチームとして加わることにより、複数のプロの視点で利用者をケアできる
- 2) 家事のみ(10%)
→育児はほぼなし

2、介護施設に関わる紹介（30%）

- 1) 施設雇用
 - ① 夜間 施設介護者を紹介
 - ② 入浴専門 パート施設介護者を紹介
 - ③ 吸引が必要な利用者（A.L.S.等）の介護者を、障害事業所へ紹介
- 2) 施設入居者が求人者（介護保険3施設以外）
 - ① 居室内での見守り（有料老人ホーム、知的障害者施設）
 - ② 病院への通院、外出
 - ③ 入居者が病院へ入院時に病院付添

3、病院入院患者付添（ご家族からの依頼）（10%）

- 1) 認知症高齢者（常時目が離せない）
- 2) 知的障害者

マッチングのための工夫

1、家政婦の得手、不得手の把握

- 1) 家政婦の経歴の把握、希望、得手不得手の把握を常日頃から行う
- 2) 家政婦の得手を伸ばし、不得手をなくし、家政婦の能力向上を図るため、看家協会主催の職業能力評価基準にもとづいた研修に参加させている。
参加できない家政婦に対しては紹介所で研修を行う
→紹介所で研修ができるよう、DVD教材、チェックリストを協会で作成

2、求人者からの依頼内容を正確に把握

- 1) 依頼受付フォームを作成し、依頼内容を正確に把握

3、求人・求職の活性化

- 1) 求人活性化
 - ① 地域包括、CMへのDM（事業所のニュース等）送付
 - ② 家政婦のスキルアップによる顧客満足度向上を図るため、看家協会主催の研修に参加
- 2) 求職活性化
 - ① 家政婦登録募集（新聞折り込み）
 - ② 登録家政婦へ知人紹介依頼キャンペーン
 - ③ シルバー人材連合会が労働局より受託した、就労支援プログラムに看家支部として参加
シルバー人材登録者に以下の説明会、実技指導を行い家政婦としての就労を目指す
・「家政婦の仕事とは」説明会実施（2か所4回実施）
・「介護体験」千葉県内3カ所で実施
・「施設体験」（2か所で実施）
 - ④ ハローワークでのリーフレット配布に参加